

事業の概況

代表取締役社長 那須和史

当期は、東日本大震災後の復興需要等を背景に、景気回復の動きが確かなものになることが期待されてのスタートでしたが、電力供給の制約や原油高の影響で我々の業界では景気回復の実感が感じられない一年間となりました。

このような状況下での当期の業績は、利益計画に対して、増収減益の決算となりました。

第68期は、まだまだ厳しい状況にはありますが、幸いなことに、ごみ焼却設備の延命化工事、ボイラ設備の燃料転換工事等を同業他社に先駆けて施工し、実績を残してまいりました。

今後も、大型改造工事、建設工事に積極的に挑戦し、関係者の皆様に安心して頂ける結果を残せる様に最大の努力を行う所存であります。

今後とも、ますますのご理解とご支援を賜ります様、お願い申し上げます。

以 上